

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	心臓血管外科学 Cardiovascular surgery	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	-----------------------------------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋	◎下川 智樹	今水流 智浩 飯田 充		尾澤 直美 西村 健二 内山 雅照 堀 貴行	
ちば		◎宮城 直人			
—					

	心臓血管外科学Ⅰ（1年次）				心臓血管外科学Ⅱ（2年次）				心臓血管外科学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	患者の病態を的確に判断し、最も効果のある手術方法を安全に施行する。そして、術後合併症を対策し、確固たる退院後治療を行って患者の信頼を得るというプロセスを身に付ける。				患者の病態を的確に判断し、最も効果のある手術方法を安全に施行する。そして、術後合併症を対策し、確固たる退院後治療を行って患者の信頼を得るというプロセスを身に付ける。				患者の病態を的確に判断し、最も効果のある手術方法を安全に施行する。そして、術後合併症を対策し、確固たる退院後治療を行って患者の信頼を得るというプロセスを身に付ける。			
要	主に、第1学年は指導医の下、病棟主治医としてベッドサイド教育、コンサルテーションを履修する。同時に講義・演習・実習を修学する。				主に、第2学年は外科専門医取得のため、関連病院で外科研修を行う。この間、大学病院での講義・実習は可能な限り継続する。ただし外科専門医を取得している場合は継続して病棟主治医として大学病院での臨床経験を継続する。				主に、第3学年は外科専門医取得のため、関連病院で外科研修を行う。この間、大学病院での講義・実習は可能な限り継続する。ただし外科専門医を取得している場合は継続して病棟主治医として大学病院での臨床経験を継続する。			
到達目標	① 多様な患者に接し、病態を的確に判断しうる知識(胸部レントゲン、心電図、CT画像、心臓超音波、呼吸機能検査を読影し、診断できる知識と技術)を身に付け、検査報告書を作成できる。 ② 適切な術前処置(常用薬剤に対する処置、清拭、点滴など)を理解し、かつ術前患者のプレゼンテーションができる。				① 術中治療(清潔手技の操作、術前の病状から考えられる術式と、術中の諸問題に対する処置など)を理解し、手術記録を作成することが出来る。 ② 術後治療(輸血、輸液、昇圧剤、末梢血管拡張剤、抗不整脈薬を用いた治療、感染症に対する対策など)を行う際の各種モニター、検査結果の理解と病態に応じた治療ができる。				① 人工心肺装置、人工呼吸器、人工透析機、循環補助機器などの治療機器を正しく使用できる。 ②学会報告(国内外問わず)のために必要な情報を収集、分析し発表できる。			
事前事後学修	以下の指定教材を事前に読んでおくこと ・循環器専門医研修テキスト(文光堂) ・心臓血管外科テキスト(中外医学社) ・1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				以下の指定教材を事前に読んでおくこと ・循環器専門医研修テキスト(文光堂) ・心臓血管外科テキスト(中外医学社) ・1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				以下の指定教材を事前に読んでおくこと ・循環器専門医研修テキスト(文光堂) ・心臓血管外科テキスト(中外医学社) ・1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度 50% ・発表 ・課題提出 ・リアクションペーパー レポート 50%				受講態度 50% ・発表 ・課題提出 ・リアクションペーパー レポート 50%				受講態度 50% ・発表 ・課題提出 ・リアクションペーパー レポート 50%			

■主な演習(講義・実習含む)

	心臓血管外科学Ⅰ (1年次)	心臓血管外科学Ⅱ (2年次)	心臓血管外科学Ⅲ (3年次)
板橋	木曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 講義(別途指示)	木曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 講義(別途指示)	木曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 講義(別途指示)
	火曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	火曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	火曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術
	火曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 心臓血管外科カンファレンス	火曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 心臓血管外科カンファレンス	火曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 心臓血管外科カンファレンス
	火曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 循環器カンファレンス	火曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 循環器カンファレンス	火曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 循環器カンファレンス
ちば	火曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 講義(別途指示)	火曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 講義(別途指示)	火曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 講義(別途指示)
	水・金曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	水・金曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	水・金曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

- ・循環器専門医研修テキスト(文光堂)
- ・心臓血管外科テキスト(中外医学社)

その他履修上の注意事項

講義・実習・演習の詳細については個別に案内します。
希望に応じて学外、海外研修あり。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	循環器病学、循環器内科学、外科学、感染免疫病態制御学、腎臓病学、救急災害医学、麻酔科学、リハビリテーション医学
	共通科目	外科学概論、救急医学特論、感染症学特論、インターベンション医学特論、循環器病学特論

関連する専門医資格

- 1) 卒後5年から外科専門医(日本外科学会)
- 2) 卒後7年以上で心臓血管外科専門医受験資格(日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本血管外科学会)
- 3) 卒後8年以上で日本循環器専門医受験資格(日本循環器学会) ※外科専門医取得後

キャリアパス(モデルコース)

